

5.5 注目種の生息状況調査

5.5.1 現況河川における注目種の生息調査結果

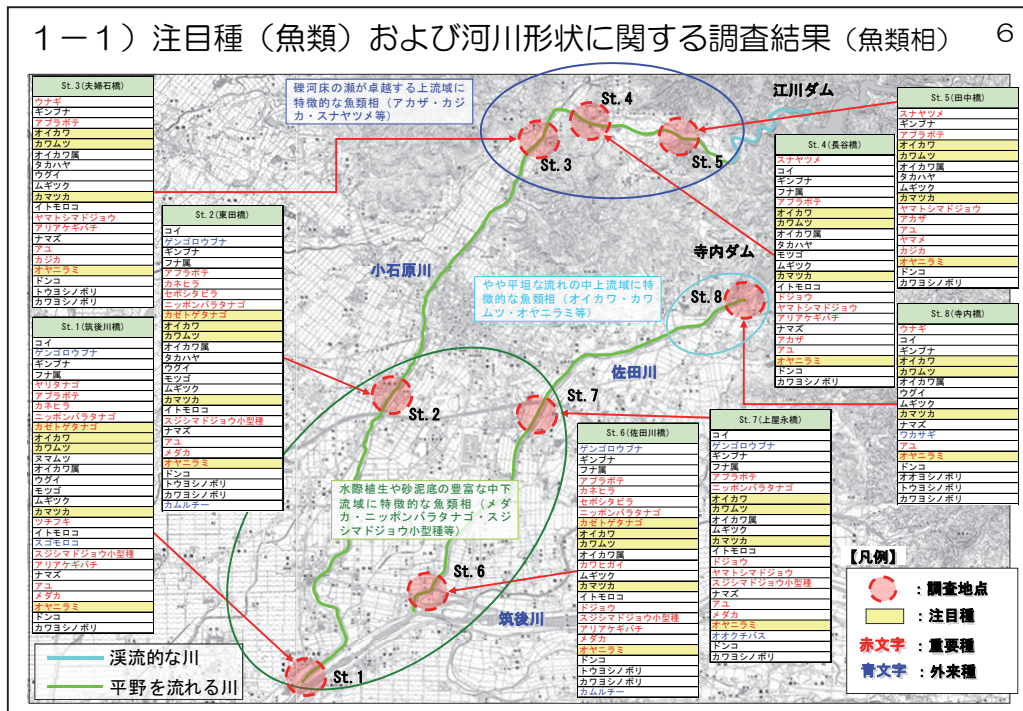
5.3 で注目種に設定した 5 種について、魚類調査を小石原川 5 地点、佐田川 3 地点で実施したところ、江川ダム下流の小石原川で 37 種、寺内ダム下流の佐田川で 31 種、両河川全体では 41 種の魚類を確認した。

注目種の調査結果は、きれいな止水域を代表する種として設定した「オヤニラミ」を全調査地点で確認するとともに、「カゼトゲタナゴ」も筑後川合流部に近い調査地点 1, 2, 6 で確認した。また、「カマツカ」、「オイカワ」、「カワムツ」についても全調査地点で確認した。

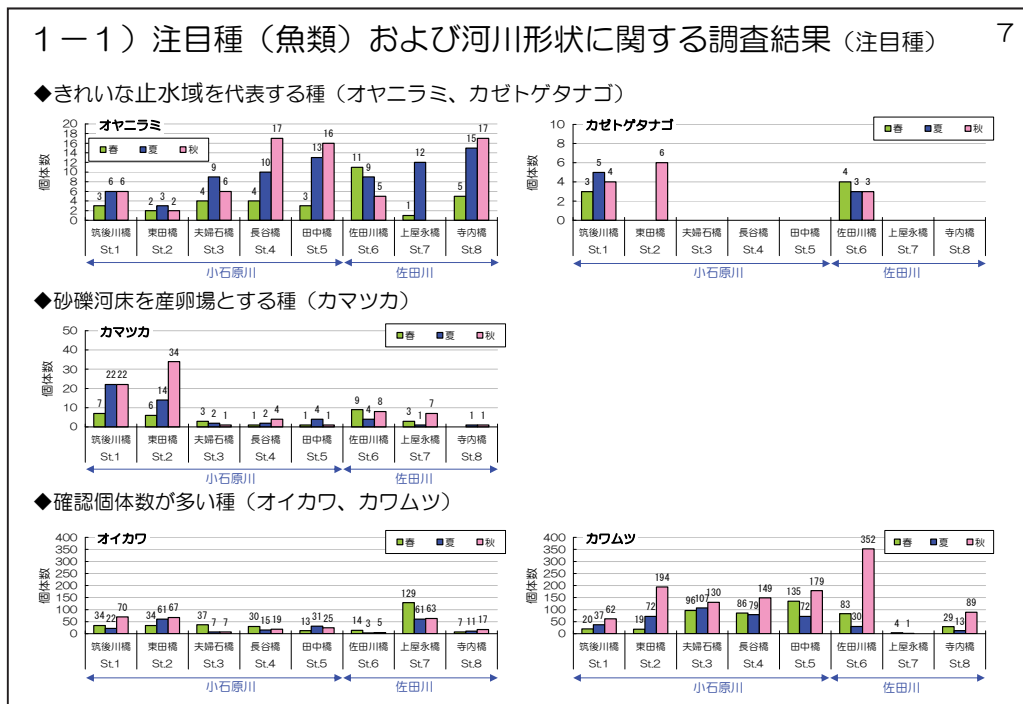
以上のことから、河川の現状から見れば、豊富な種類の魚類が確認されていると考えられる。

1-1) 注目種（魚類）および河川形状に関する調査結果	5
<p>①調査地点：</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小石原川 St.1、St.2、St.3、St.4、St.5 ・佐田川 St.6、St.7、St.8 <p>②調査時期</p> <ul style="list-style-type: none"> ・魚類相調査： 春季（H22/6/2～4） 夏季（H22/8/16～18） 秋季（H22/9/29～10/1） ・河川形状調査：秋季（H22/9/17～18） <p>③調査内容</p> <p><魚類相調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各調査地点における魚類相の確認 ・注目種（オヤニラミ、カゼトゲタナゴ、カマツカ、オイカワ、カワムツ）の個体数の確認 <p><河川形状調査></p> <ul style="list-style-type: none"> ・各調査地点の河川環境基図および植生断面図の作成 	

図-5.15 注目種（魚類）および河川形状に関する調査内容



【第4回検討会資料】



【第4回検討会資料】

5.5.2 注目種の追加

調査地点 1, 2, 6, 7 で確認された「ニッポンバラタナゴ(CR：環境省 2007 RL、VU：福岡県 2001 RDB)」については、「注目種に追加することが望ましい」との意見が第 4 回検討会で委員から出されたことから、新たに注目種（魚類）に追加し、下流河川環境の改善の評価に活用することとした。

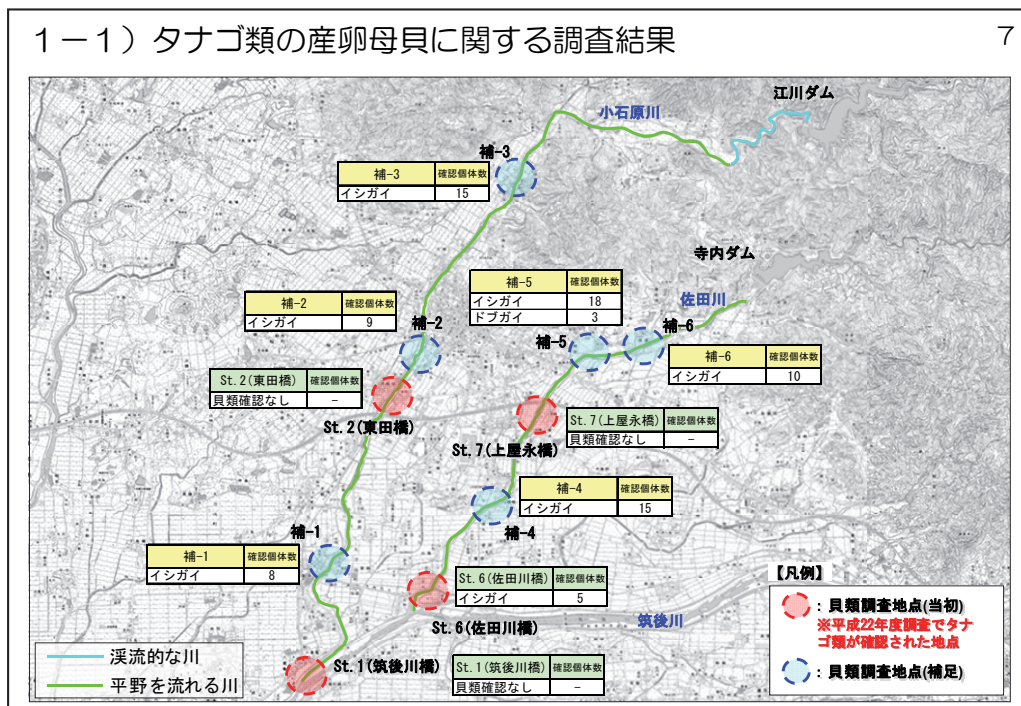
5.5.3 タナゴ類の産卵母貝の調査結果

新たに注目種（魚類）として追加した「ニッポンバラタナゴ」が、小石原川、佐田川で継続的に生息することが可能かを評価するため、「ニッポンバラタナゴ」の産卵母貝となるイシガイの調査を実施した。

その結果、小石原川の 3 地点、佐田川の 4 地点でイシガイを確認した。

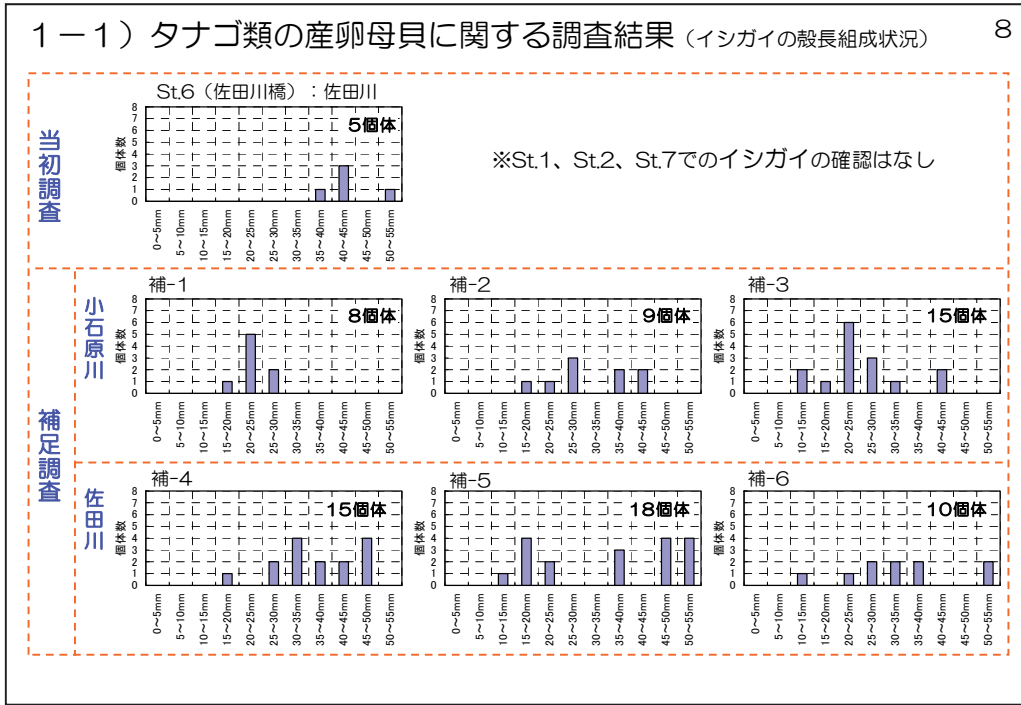
イシガイの殻長組成状況では、10～55mm の幅を持った個体が確認された。また、イシガイが世代交代を継続するために必要な「カマツカ」、「ドンコ」、「ヨシノボリ」などの底生生物も確認された。

以上のことから、イシガイは、小石原川および佐田川で世代交代を行いながら生息していると考えられ、「ニッポンバラタナゴ」の継続的な生息も可能であると考えられる。



【第5回検討会資料】

図-5.18 タナゴ類の産卵母貝の調査地点



【第5回検討会資料】

図-5.19 タナゴ類の産卵母貝 (イシガイ) の調査結果

5.6 佐田川の瀬切れ発生状況と河川流量との関係

佐田川の瀬切れ発生状況と河川流量との関係を整理するため、佐田川橋から下古賀井堰間において、河川流況等の調査を実施した。

その結果、佐田川橋付近の S3 地点における河川水位が約 EL. 29.7m を下回ると瀬切れが発生しやすいこと、また、降雨等の状況にもよるが、S3 地点の河川流量が約 $0.2\text{m}^3/\text{s}$ を下回ると瀬切れが発生する場合があることが確認された。

また、瀬切れ区間の上下流付近では、流量の減少により水が渾濁、水質の悪化等が認められる。寺内ダムで実施している弾力的管理試験のフラッシュ放流を行うことで、一時的ではあるが、佐田川の環境基準(BOD: $2\text{mg}/\text{L}$ 以下)まで水質が改善されることが確認されている。

以上のことから、小石原川ダムの完成後は、寺内ダム直下において通年 $0.37\text{m}^3/\text{s}$ の流量が確保されることで、佐田川の瀬切れや水質などの河川環境の改善が図られるものと考えられる。

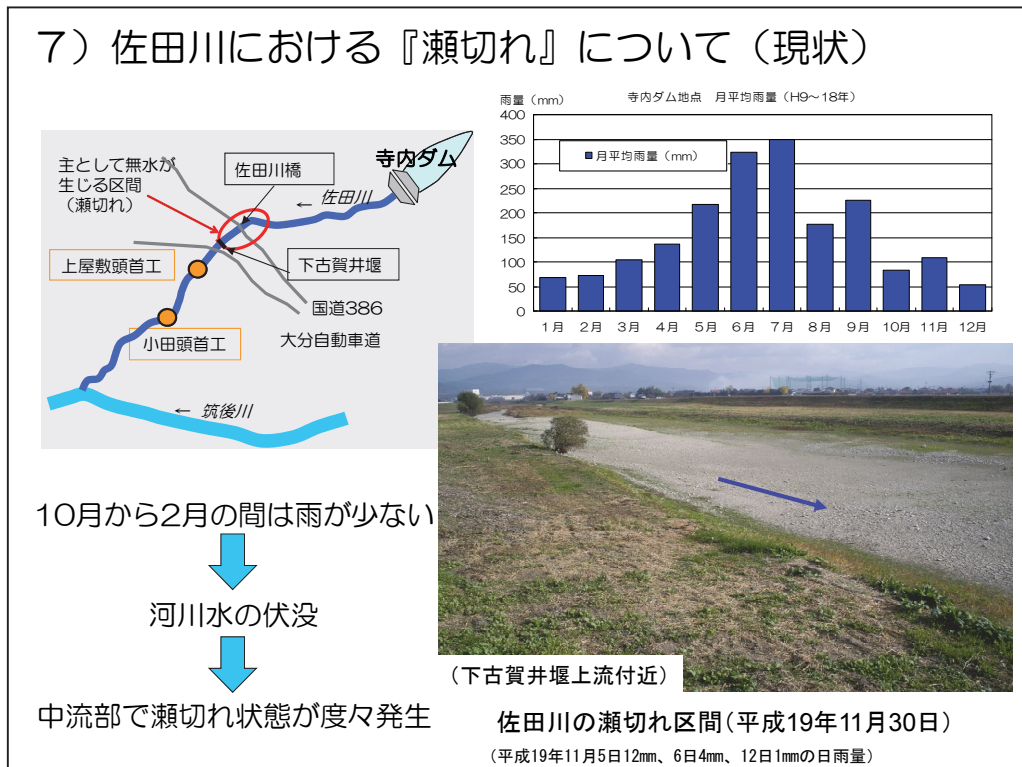


図-5.20 佐田川における「瀬切れ」について (その1)

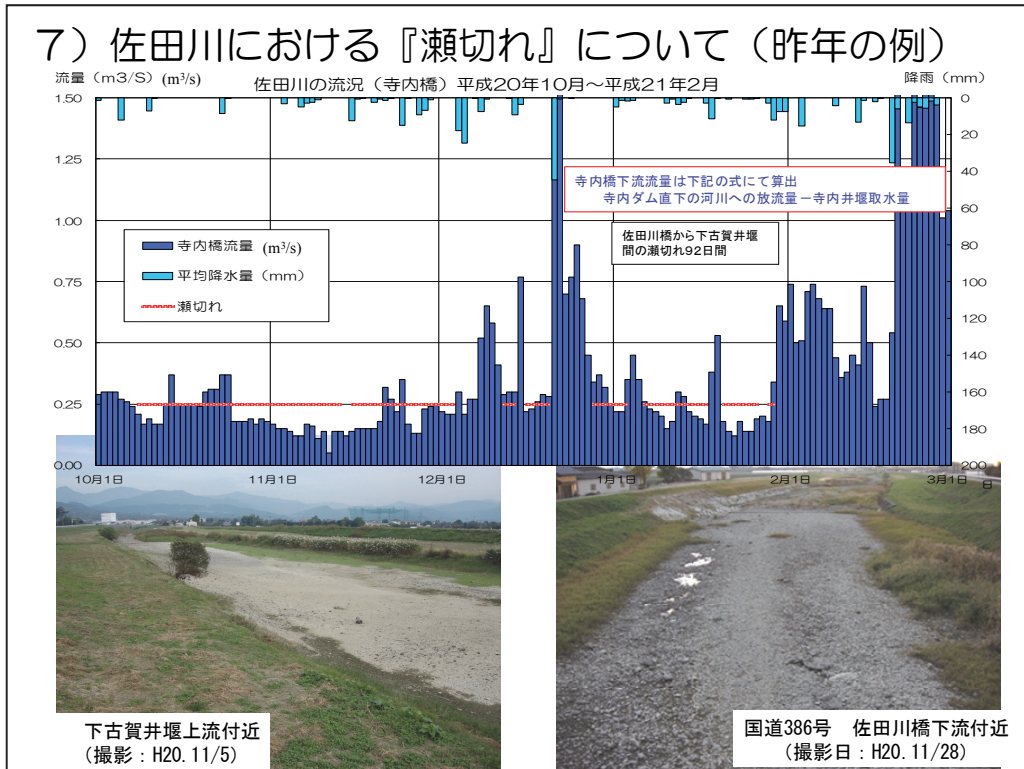


図-5.21 佐田川における「瀬切れ」について（その2）

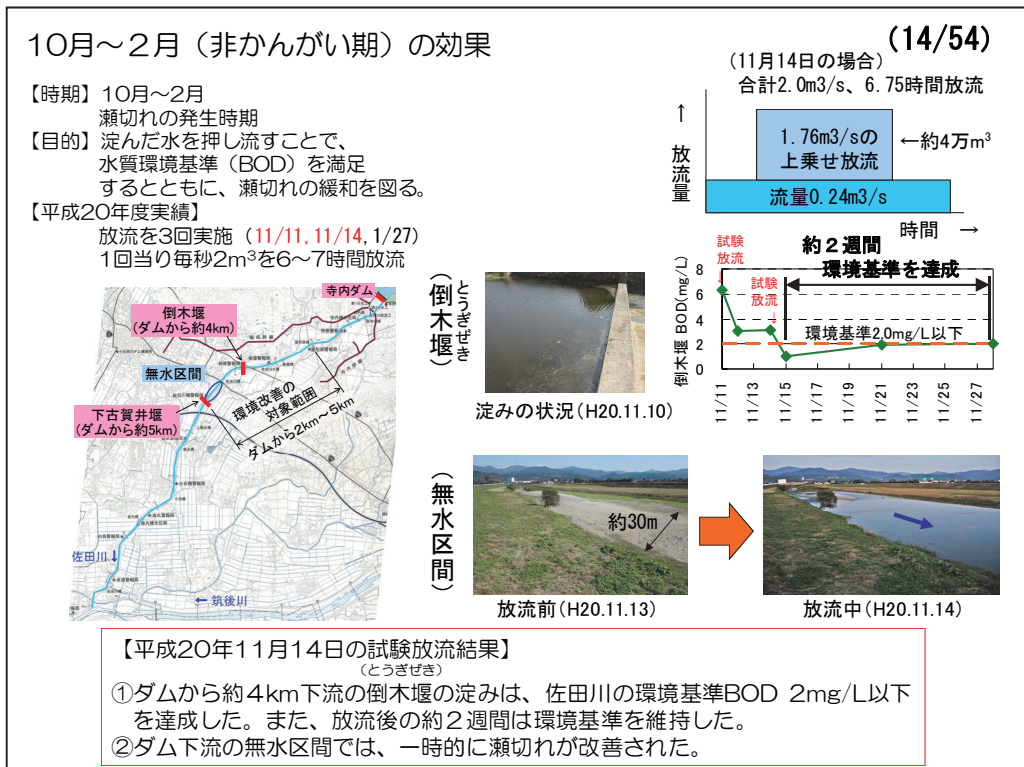
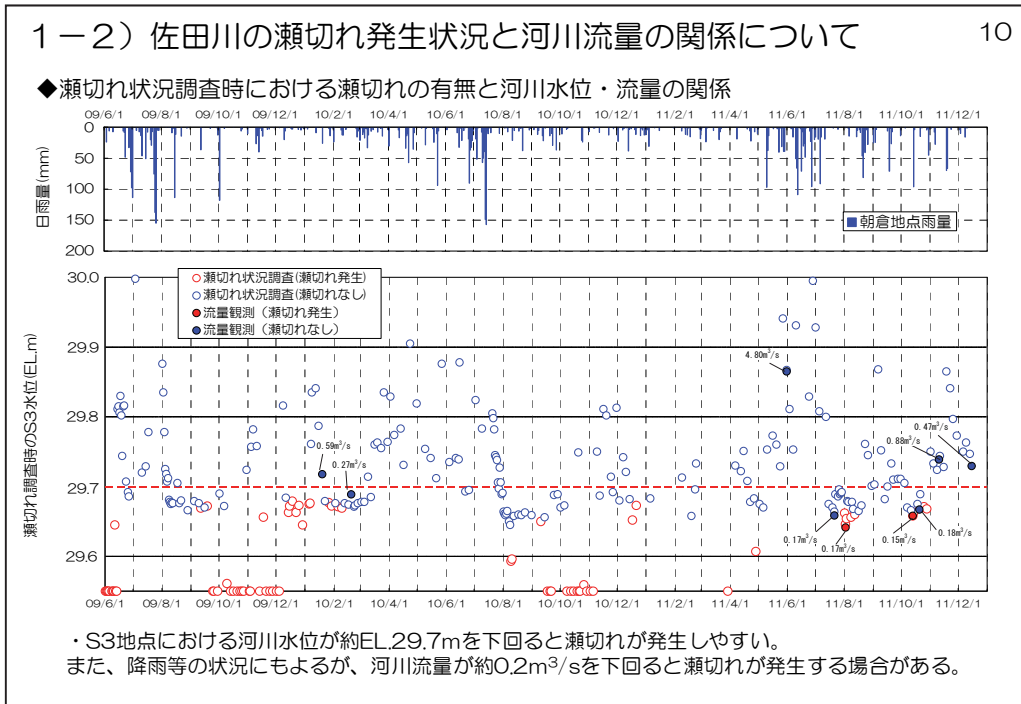


図-5.22 寺内ダム弾力的管理試験



【第5回検討会資料】

図-5.23 佐田川の瀧切れ発生区間



【第5回検討会資料】

図-5.24 瀧切れと河川水位・流量の関係